

質疑・質問



山本 光明 議員
(一括質問方式)

- ① 地方創生
- ② 公共施設の存廃計画
- ③ ふるさと納税
- ④ 防災計画
- ⑤ 自治会
- ⑥ 学校耐震化計画
- ⑦ 情報管理
- ⑧ 空き家対策
- ⑨ 遊覧道路改良
- ⑩ タケノコ利用計画
- ⑪ 国民健康保険
- ⑫ 市立大洲病院院内保育

ふるさと納税について

問

今年4月から減税対象となる寄附上限が2倍に引き上げられたが、各自治体とも税収が伸び悩む中で知恵を絞っての獲得に力を入れており、4月だけで昨年度の5倍になった自治体もあると聞いている。大洲市には山から海へ

地域性を活かした特産品(返礼品)



と地域性を活かした特産物が数多くあり、地域の魅力発信の上でも、もっと知恵を出し合い、工夫をして認知度アップに努め、ふるさと納税への推進に努めるべきだと考えるがどうか。

答 今年度の主要課題として、まず返礼品となる特産品の種類の拡充や発送体制の見直しなどを進め、インターネットポータルサイトへの情報掲載や寄附金額に応じたポイント制の導入など、寄附者の利便性の向上と特産品のPRにつながる取り組みの検討を進めることとしています。

また、総務省から高額な品物などは自粛するように要請があったことも踏まえ、関係団体にも協力をお願いして、良識ある範囲での

返礼品の選定、充実を図っていきたいと考えています。

情報管理について

問

現代は、情報社会の世の中になり、非常に便利になった反面、年金情報の流出事件やネットバイキングによる被害が多発するなど、国民生活が脅かされている。

国では、来年の1月に国民のマイナンバー制の導入を目指している。当市においても職員は全てパソコンで事務処理を行っているが、市として情報管理、セキュリティ対策はどのように行っているのか、今後どのような対策をとっていくつもりなのか。

答

職員に対し不審なメールへの対応や重要なファイルへのパスワード設定などについて、改めて注意喚起を行ったところです。

税情報などを扱う基幹系のシステムについては、マイナンバー制度により情報連携が開始されると、特定の事務において、他の行政機関等との間でネットワークシステムを通じた情報連携を行うこととなります。そのため、これまでに以上に強固なセキュリティ対策が求められることとなり、適切な対策を講じるための仕組み、最新技術を使った製品の導入等を検討し、情報管理の強化を図っていきたくと考えています。

タケノコ利用計画について

問

餃子の王将による愛媛県産のタケノコ採用は、山間部の農家にとっては一筋の光明である。市では、森林組合との打ち合わせがあったようだが、メンマにするには、タケノコを湯がいて乾燥するなどの工程が必要となる。湯煎する釜や乾燥機など初期投資も必要となるが、市として今後どのように関わっていくのか。

答

新たに乾燥タケノコ生産に取り組もうとする生産者に対し、使用していないシイタケ乾燥機があっせんなど、市としても必要な助成措置を検討していきたいと考えています。

さらに、市全体で取り組めるシステムづくりなどについても、愛媛県、愛媛県森林組合連合会、JA愛媛たいききなど関係機関と連携し、早急に取り組みたいと考えています。

乾燥タケノコの生産については、これまで放置されていた竹林を有効利用できる事業であり、農家、林家の所得向上や地域の新しい産業として雇用の創出にもつながるものと期待される場所です。市としても、中山間地域の活性化を目指し、従来にも増して積極的に取り組んでいきたいと考えています。